

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2008-243639(P2008-243639A)  
 【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-040  
 【出願番号】特願2007-83363(P2007-83363)  
 【国際特許分類】

H 0 1 M 2/10 (2006.01)

H 0 1 M 10/50 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/10 Y

H 0 1 M 10/50

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月2日(2010.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

両面が平坦になった平板状電池を複数積層させた組電池を加圧ホルダーに挟み込んで加圧させる加圧ホルダー付き組電池において、上記の加圧ホルダーが、上記の組電池を挟み込む一対の加圧板と、この一対の加圧板間において上記の組電池を挟み込むように加圧させる金属で構成された加圧部材とを有し、上記の平板状電池相互間に金属で構成された板状のスペーサ部材が設けられ、このスペーサ部材と上記の加圧部材とが部分的に接合されていることを特徴とする加圧ホルダー付き組電池。

【請求項2】

請求項1に記載の加圧ホルダー付き組電池において、上記のスペーサ部材と加圧部材との何れか一方に係合凸部が設けられる一方、他方にこの係合凸部と係合される溝部が設けられ、この係合凸部と溝部とが係合されてスペーサ部材と加圧部材とが部分的に接合されていることを特徴とする加圧ホルダー付き組電池。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の加圧ホルダー付き組電池において、上記のスペーサ部材と加圧ホルダーとの少なくとも一方が、Cu, Al, Fe, ステンレスまたは合金で構成された接続部材によって外部放熱部材に接続されていることを特徴とする加圧ホルダー付き組電池。

【請求項4】

請求項1～請求項3の何れか1項に記載の加圧ホルダー付き組電池において、上記の平板状電池が非水電解質二次電池であることを特徴とする加圧ホルダー付き組電池。